

令和5年度 さいたま市立上木崎小学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年 6月12日（月） 14時00分～15時20分

場 所：上木崎小学校 2階 大会議室

出席者：13名

欠席者：1名

議事録：

（進行）教頭

1 校長あいさつ

- ・ポストコロナの時代になり、様々な教育活動ができるようになってきた。この3年間で学校は大きく変化してきたので、コロナ前に戻すということではなく、改めて活動の意義を見直し、令和時代の新しい教育活動に挑戦する。
- ・委員の皆様には、児童の健全な成長のために忌憚ない意見をいただきたい。

2 委嘱状・任命書交付

3 委員自己紹介

4 会長及び副会長選出

会長、副会長が出席委員の賛同により決定。

<学校運営協議会>

○ 開会宣言（会長）

5 学校運営協議会について（教頭）

- ・学校運営協議会とは、「学校運営への必要な支援に関して協議する機関」で、「学校運営の改善及び児童の健全育成を目的」としている。学校だけでなく、地域、家庭も主体となって学校運営や支援について協議し、ともに進めていくということである。
- ・学校運営協議会を設置している学校のことを「コミュニティ・スクール」という。学校運営協議会が、SSN（地域学校協働本部）と協働、連携していくことで、「地域とともにある学校」を目指していく。
- ・「さいたま市学校運営協議会規則 第5条」にあるとおり、以下の5項目について、承認を頂きたいので、ご説明する。

（1）学校経営計画に関すること（校長）

- ・学校教育目標を「心身ともに健やかな子の育成」目指す学校像を「○豊かな心が育つ明るく楽しい学校 ○学ぶ喜びを味わえる活力ある学校 ○家庭・地域とともに歩む開かれた学校」とする。
- ・経営方針について
 - ① 本コミュニティスクールの一層の充実
 - ② シン*1・GIGAスクール構想の推進によるICT機器の有効活用

*1:「シン」は「新」「真」「進」「伸」「深」などの意味が込められる。

- ・実践指針について
 - ① 予測困難な時代を生き抜く子どもたちの自尊感情をはぐくむ教育活動の推進
- ・重点実践事項について
 - ① 一人一台のタブレットを活用した学びの推進
 - ② 高学年における教科担任制の実施
 - ③ 「あいさつ」や「思いやり」のある行動ができる児童の育成
 - ④ 学校ホームページを積極的に活用した地域、家庭への広報・周知
 - ⑤ 学校における働き方改革の推進
- ・ポストコロナの新しい時代の新しい教育に挑戦していく。

(2) 教育課程の編成に関すること（教務主任）

- ・学習指導要領に示された年間標準時数を確実に実施できるよう、時間割を編成している。
- ・3年生では、理科、G・S、4年生では、音楽、理科、G・Sで担任以外の教員が担当。5・6年生は全教科において教科担任制を実施し、各クラス7名の教員が指導している。

(3) 組織の編成に関すること（教頭）

- ・校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、学校栄養士、業務担当職員のほか、会計年度任用職員や委託職員が従事している。
- ・学年や各教科、各領域、様々な専門委員会の主任が、各学年の担当とともに組織として、児童の健全な育成のため、意図的・計画的に教育活動を推進している。

(4) 施設及び設備の管理に関すること（教頭）

- ・今年度は昨年度同様、通常学級が26、特別支援学級2。昨年度に比べ、3年生で1学級増、4年生で1学級減。
- ・昨年10月までに西側トイレの改修工事が完了。節水型トイレのため、水道使用量が減少。
- ・校地内の施設・設備は、安全教育主任、安全教育部が中心となって毎月1回安全点検を実施。

(5) 予算の執行に関すること（事務主幹）

- ・今まで本校の教職員が行っていた業務について、外部に委託できるものは外部発注することとした。学校における働き方改革の一環として、本校教職員の業務時間を確保するためである。
- ・施設・設備の維持管理をプロ（外部業者）に委託する取り組みを行う。トイレの清掃、コーティングプール清掃、教室のワックスがけなど。
- ・消耗品は、購入品や数量の見直しを図ったことで、安価に購入できることとなった。

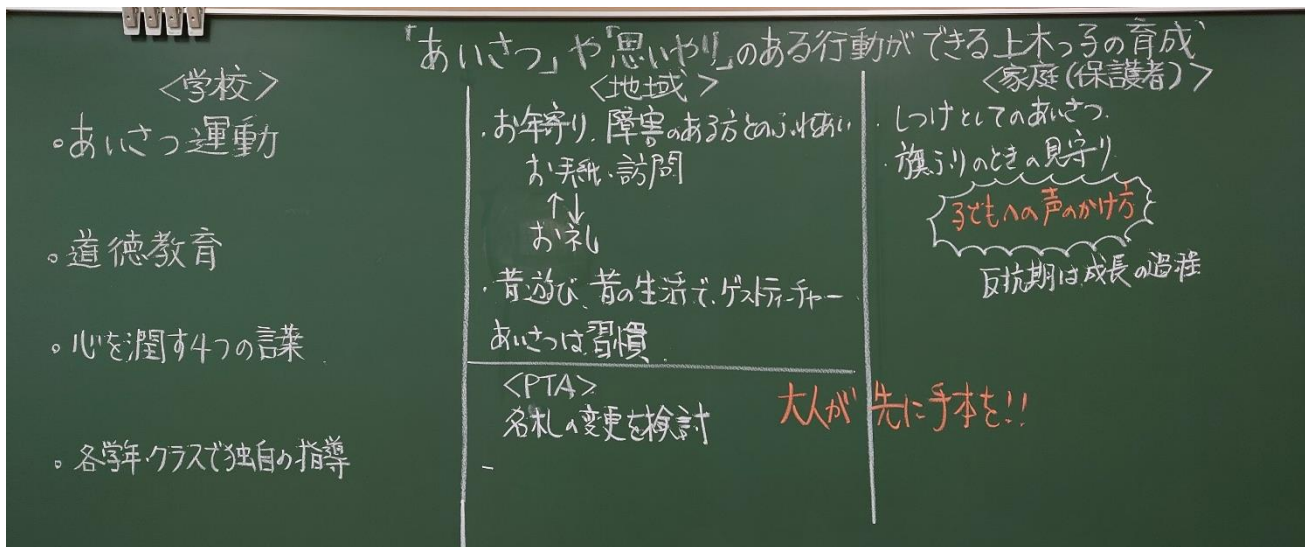
●今年度の学校運営基本方針について、委員全員からの承認を得る。

6 熟議 「『あいさつ』や『思いやり』のある行動ができる上木っ子の育成」について（教頭）

- ・学校、地域、家庭でテーマを具現化できる取組を話し合う。
- ・学校の取組
 - ① 全学年児童によるあいさつ運動

- ② 全教育活動における道德教育の充実
- ③ 「心を潤す4つの言葉」を適切に使える児童の育成・指導
- ④ 各学年、各学級裁量の独自の取組
- ・委員からの意見
 - ㊦お年寄りや障害のある方とのふれあい
 - 小学生がお手紙を出したり、訪問したりすると、お年寄りからお礼の手紙
 - ㊦障害者体験
 - ㊦昔遊び、昔の生活を学ぶ授業などでゲストティーチャーとしてお年寄りを招待
 - ㊦しつけとしてのあいさつ
 - おはよう、行ってらっしゃい、行ってきます
 - ㊦旗振り登板の時の見守り
 - 子どもへの声のかけ方が大事。
 - ㊦PTAの名札の変更を検討している。
 - 名札をつけている人は、地域の人。子どもも安心してあいさつできる。不審者対応にもなる。

(あいさつなどで) 大人が先に手本を示せる地域を！



・本日の熟議をうけて、学校、地域、家庭で具体的に取り組んでもらい、第2回会議（11月6日（月））で、その取組状況について話題にする。

○ 閉会宣言（会長）

7 事務連絡

○今年度の学校運営委員会準備委員会予定について

- ・今後の日程 第2回 令和5年11月 6日（月）
- 第3回 令和6年 2月 5日（月）